

少しずつ育ち、教祖の教えを学びます



夕張団少年会総会 4月30日

ひきよせ

天理教夕張大教会
北海道岩見沢市9条西6丁目
〒068-0029 ☎0126-22-1248
FAX 0126-23-7275
HP bariten.main.jp
yubaridai146@gmail.com

貴方への手紙 (303)

6月24日は前真柱様の
五年祭が執り行われなます。

「前真柱様からのお仕込み」

昭和62年9月3日、夕張大教会
長就任奉告祭当日、私は、三代真
柱様の次なる巡教地へとお送りし
ました。その教会でお礼を申し上げ、
辞去しようとする時、ちよつ
と残れとのことでした。客室に入
ると真柱様から直々にお話があり
ました。それは、私の奉告祭での
様子を心配されたこと。

「あのな、お流れのとき、部内の
布教所を紹介するとき名前が出て
こなくて本人に尋ねたりしていた
やろう。あれは紹介された人も嬉
しくないな。わしもいろいろな人
に会う。お前はあの人数くらいの
人の名前は覚えておけよ」とじつ
くり優しくお話をしてくださいま
した。私はお言葉の間、頭を下げ、
手をついていたのですが、胸の中
では「なんとありがたい嬉しいこ
とだろう。私だけのために真柱様
が30分もの時間を割いてお話し下
さった」とありがたく嬉しくて
たまらなかつたのです。

客室から出てくると、随行の安

野先生は、さぞ私がひどく叱られ
ていたのではないかと心配して言
葉をかけてくれました。それなの
に、私が嬉しそうなので怪訝な表
情でした。実はかくかくしかじか
で私がいまにも人の名前を覚え
てないことにご注意くださいまし
たと話すと、よくまあ、しよげも
せず笑いながら出てくるとは、あ
きれたものだなあと笑われました。
おかげでその後、部内教会の信者
さんに至るまで人の名前と顔を覚
えるよう努力を怠ることはありません。
前真柱様の驚異的な記憶力
には到底及びませんがあのとき
のお仕込みの至福の時間のお陰であ
り、今も忘れられません。

「おうた演奏会の感激」

北海道教区がおうた演奏会を開
催することになったとき、大変お
喜び下さいました。

一年以上の準備とおうたの練習
が進む中、まさ奥様のご身上は重
くなり、教会では毎朝、十二下り
のお願いとめをさせて頂き、ぜ
ひご観覧いただきたいと願ってお
りました。

しかし、その年の平成13(20
01)年8月15日、まさ奥様は御
出直しになられたのです。おう

今後の予定

6月8日 夕張鼓笛隊・旭川音楽大行進出演

大勢の方で応援ください

3023日 ひなの会

夕張大教会会場 13時より

夕張大教会創立110周年会員決起の集い

この開催は9月2日のことであり
前真柱様には御来道なされないの
ではないかと準備を進める一同が
心配をしていました。
しかし前真柱様がお越しになる
との連絡が入りました。いよいよ
千歳空港にご到着になると、私
は練習中の合唱団や係員に「これ
から前真柱様を空港までお迎えに
行きます！」と叫んだのです。そ
のときの皆さんの顔。信じられな
い、という表情が今も忘れられま
せん。ワーツと声があがり大きな
拍手の中、お出迎えに出発したの
です。

前真柱様が合宿練習所(統北分
教会)に到着すると、ちよつどお
うた練習のクライマックスの場面
でした。参拝する中、感動的な歌
声の間、人の声とは、か
くも力があるものか、まるで映画
のワンシーンのようです。

陰から練習風景をご覧いただき
うとしたのですが、見つけた人達
から大きな拍手がわき起こり、私
がマイクを差し出しますと、一瞬
戸惑っておられたふうでしたが、
短いがしかし心のこもったお言葉
を下さいました。

「初めまして(笑)(一般参加の合
唱団員に配慮されたのでしょうか)、
皆さんの元気な顔を見て私も元気
になりました。(拍手)明日は一緒
に練習します。」

とたんにワーツという声と拍手
が起り、鳴りやみません。マイ
クを差し出す私も皆さんも涙が止

まりません。

にこやかに、しかし万感を込めたお言葉に、微笑みながらも、思わず涙を流す人が多かったのです。私は前真柱様と一緒に立っていたのですが皆さんの素晴らしい表情を見ました。めったに見られない良い光景で、信仰者と前真柱様との、まことに麗しい姿でした。

9月2日はいよいよ私達の待ちに待った「おうた演奏会」です。二回公演、五千人。様々な節があったけれど、今はただ時の過ぎるのを惜しむ気持ちで、一瞬一瞬を味わい、楽しみました。歌う人、演奏する人、みんな涙、涙です。北海道では、やっとおうた演奏会が実現したのです。おつとめにはかくも壮大な世界があったのかと感激を新たにしました。

四月月次祭の様

4月に入り、段々と気温が上がリ、一気に春めいた。しかし朝晩は冷え込む日も多く、例年に増してインフルエンザが流行った様子。大教会の周りも雪解けが進んで、桜は蕾を膨らませて、開花まで秒読みといった4月の祭典時期であった。

開扉献饌のち祭文奏上。教祖ご誕生祭直前の月次祭という事もあつてか、春の陽気と相俟って朗らかな心で座りつとめ・十二下りを勤めた。

講話には藤田大和・札美分教会

長が壇上に上がり「2月の祭典前に肋骨を骨折してしまい、予定されていた講話の御用を務める事が出来なくなつてしまいました。大分良くなった先月末に祖父の年祭を務めましたが、その夜からお尻の奥が痛み出し、寝られない日が続いています。病院で検査をすると、ヘルニアであることが分かりました。医者が言うには『歩けるのも不思議だ』という位重度なものでありましたが、逆に考えるとお守り頂いていたんだな、と思つていきます。

本日は、神様はその時々々の自分に合ったおたすけの機会をお与え下さる、という事をお話しさせて頂きます。まさに、今年の夕張の活動目標『今、できることがある！』に合致する事かと思ひますので、どうかお聞きください。



中学に入って、私はサッカー部に入部しました。当初は友達も出て楽しく過ごしていましたが、色々な事情から監督や部員と少しずつ距離が離れていって、行きづらくなつていきました。いじめのような事も受けて、学校にも行け

ずに苦しんだ時期がありました。そんな時、クラスには同じように周りからいじめられていた子がいました。私は『この子に笑つてほしい』と思い、それから一緒に過ごすようになりました。今思えば、この時がおたすけ心の芽生えの時期だったのかもしれない。

その後、天理高校に入学し、またサッカー部に入部しました。しかし生来の性格からか、ここでも上手くいかず、また身上もあつて満足に活動する事が出来なくなりました。思うようにいかない毎日

を過ごしていた高校2年の時、前会長夫人である祖母が出直しました。その前日、今までそんな事をした覚えがありませんが、珍しく祖母と二人で話をしました。出直しの報を聞いた時、堪らなくなつて本部へと走り、『祖父母のよう

なおたすけをしたい』とお願ひいたしました。それからというもの、こどもおちばがえり等の行事のひのきしんに、積極的に参加するようになりました。ひのきしん中には、関わる人みんなに喜んでもらおう、笑つてもらおう、と心掛けて務めました。

高校から大学にかけてそのように過ごすうち、私の周りには不思議と心に弱さを持った人が集まつてくるようになりました。それは出会うというより、同じ苦しみ悲しみを持った人を、私が見つけられるようになった、という事かも

しれません。神様は世界中の人間を助ける為に、早くから引き寄せられた私達に対して、先に身上事情を味わうようにお手入れを下さつていのではないかと。そして同じような身上事情の方を助けるよふぼくとして、お育て下さつていのではないのでしょうか。学生時代の辛かつた事も、神様の目から見れば意味のある事であつた、と少しづつ得心できるようになってきたと思います。

母が足の身上を抱えている事もあり、足の悪い人はよく目に留まり、出来る限りおさづけを取り次がせて頂いてきました。精神疾患の方のおたすけをさせて頂く機会も多く、なかなか全快することのない、大変な身上ですが、根気よくお世話取りをさせて頂いてきました。

今、どこか苦しいところ悩むものがあるならば、まさに同じ苦しみ悩みを抱えている人が大勢いらっしゃると思います。その方達の話聞いて、その心に寄り添う事が、それぞれが出来るおたすけなのではないでしょうか。きっと神様も私達の周りに、自分と同じ境遇の方を連れてきて下さいます。それこそが私達にとつての『今できること』ではないでしょうか」と語つた。

その後本部の部署移管に伴う辞令交付があり、三日講習会世話係に佐藤大輔氏が改めて任命された。

大教会長は「本部では教化育成部が布教部と統合される事になりました。世話人の喜多先生が立役者となつて設立された部署でした。『働く現役世代にも教理の学びの場を』という思いから、15年間、基礎講座や三日講習会を担当してきました。私も基礎講座の立ち上げから、また長年講師として深く関わり、感慨深いものがあります。3月の年祭には、喜多先生が怪我を押して務めて下さいました。リハビリも大変な中、大変ありがたく、頭の下がる思いでありました。喜多先生の方も『ありがとう、ありがとう』と、皆さんに感謝しきりで、喜んで帰られました。

私は月末に丹波篠山にいらつしやる北弘の前会長である中村先生夫妻を訪ねました。二人とも90才を超え、活発に歩く事はなくなりましたが、皆さんの顔を見たい、よろしくお伝えください、と元気そうでした。

年を取ると出来る事が少なくなつていきますが、道を通る者として、まずおたすけ。それも難しければおつとめ、人様の助かりを願う事、そういった毎日を送らせて頂かなければならないと思ひます」と話した。

祭典後には少年会の例会が開かれ、間近に迫つた少年会総会に向けて、準備やプログラムの確認にスタッフが大いに意見を交わし合つた。

少年会総会

可愛いおつとめ着姿で 一生懸命おてふりも 鳴物も

平成最後の日、4月30日に大教会にて毎年恒例の少年会総会が開催された。

この日に向けてスタッフは何度も話し合いを重ね、また前日の夜遅くまで準備に余念がなかった。

迎えた30日の朝、雲一つない快晴で、寄り集う人達の表情も天気同様明るかった。9時から受付、少年会員は皆おつとめ着に着替えて、神殿に集合。ゲームのお兄さんと楽しいゲームをしながら、開会の時間を待った。

10時から総会式。少年会長様のご告辞を真剣な顔で聞き、代表の会員の声に続いて大きな声で少年会員のちかいを申し上げた。また活動紹介ではスクリーンに各行事・活動の様子が映され、楽しそうな雰囲気子ども達は目を輝かせていた。



おつとめまなびでは、各教会や家庭で練習してきた成果を存分に発揮して、元気いっぱいなおつとめを勤めた。おつとめ着を着けた少年会員の姿は可愛らしくもどこか凛々しい表情に見え、一生懸命なおてふりや鳴物を勤める姿に見守る育成会員も感激の場面であった。



その後、教祖ご誕生セレモニーが行われ、逸話篇を題材にした人形劇が繰り広げられた。ヒカキんとデカキンのやり取りに笑いながらも、教祖の温かな御心に触れる逸話に、真剣な目をして鑑賞していた。最後に登場したタイムマシンが空を飛ぶ姿に大盛り上がり。そして一粒一粒に少年会員が笑顔を描いたぶどうの実が教祖にお供えされた。



昼食は食堂とホールに屋台が設けられ、各教会が腕によりをかけてたメニューが盛りだくさん。ラーメン・からあげ・ポテト・おにぎり・ホットドッグ・クレープ・ジュースと、味もボリュームも満点のごちそうに、大満足でお腹を充たした。

食事の後はお楽しみ、大運動会が行われた。たくさん旗で飾り付けられた大広間を、少年会員たちが所狭しと駆け回った。かけっこ・ジェスチャーゲーム・障害物リレー・フラフープくぐりと、たくさんゲームで盛り上がり、会場の空気は最高潮。特筆は学生会層・わかぎが中心となって、準備やゲームの運営を行っていた事。若い力が頭を捻り汗を流す姿は、これからを担う世代への期待が高まる光景であった。

最後にこどもおちばがえりのおさそい動画を見て、藤田豊団長のお話の後、参拝して閉会。少年会員達はお下がりのお菓子と、目に



見えない大きなお土産を持って帰路に着いた。今年の少年会総会は少年会員69名、総計181名の参加をご守護頂きました。携わった全ての方々に感謝申し上げます。

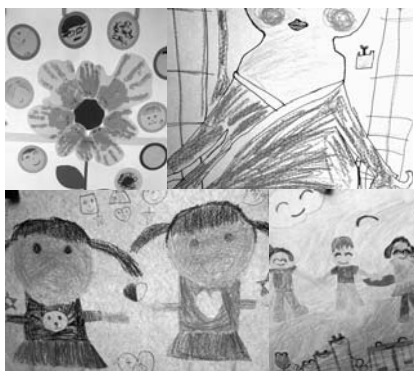


第37回若人会総会

3月17日(日曜日)、祝梅分教会におきまして、若人会に携わる会員スタッフ19名、教会・ひのきしんの方々17名総勢36名がつどい、総会をつとめさせて頂きました。春らしい陽気と晴天に恵まれた中、10時より十二下りのおつとめまなび、記念撮影、会食、総会式、アトラクションをつとめさせて頂きました。特に少年会員は前日まで四・五・六下り目のおつとめを一生懸命練習し、会食の前に祝梅鼓笛隊の「バックドラフト」を皆さんの前で演奏しました。総会では立教182年の予定を案内し、アトラクションでは様々なゲームを行いました。楽しい中にも若人会の総決算となるこの総会に緊張感を持って取り組むことができ、意義深い一日を過ごさせて頂きました。

祝梅若人会委員長 伊藤伸幸

お供え 作品展 (部掲載)



春の陽射しの中で参拝 婦人会教祖御誕生祭回参

4月17日朝9時過ぎ、新千歳空港は「今朝は寒かったね」と言いながら夕張婦人会が旭川・富良野方面や室蘭・日高方面からも集合し、97名の団体のかしませい事!

おぢばは連日、陽光があふれ、18日の御誕生祭も心ゆくまで参拝出来ました。

その夜は詰所2階講堂で「支部の集い」が開かれ、日本画で日展に入選された村田和香先生(秩父大・所沢分よぶぼく)の語りと絵の「教祖・紙芝居」が上演されました。

教祖の「生い立ち」から「貧に落ちきる道」「道あけ」「扇ひらいて」と4部構成で、ご苦労とお道が八方に広がる様子など、演劇の



ような語りやわらかな絵が、教祖をお慕いする日にふさわしく、120名の観衆の心をキュッとつかみました。

19日は婦人会総会で、来年の創立110周年の参拝には、大勢で来たいと思いましたが、またその日の夕食では親睦会が持たれ、食堂でお寿司を食べながら、カラオケに踊りも飛び出してたくさん笑いました。20日、皆無事に空路帰会出来ました事を喜ばせて頂きました。(美)

2019年 募集中!!
こどもおぢばがえり
夕張団・南空知支部 日程

- 7月26日 夕張大教会 集合 宿泊
- 7月27日 飛行機
- 7月28～30日 おぢば行事
- 7月31日 ひらかたパーク、フェリー
- 8月1日 22時 夕張大教会着 解散

参加費用
 小学生：44,000円 中学生：49,000円
 高校生：49,000円 大人：51,000円

第一次締め切り 6月10日
 お問い合わせ **011-378-2422** 千葉祐生まで
みんなでおぢばの夏を楽しもう! oh~!



大教会日誌抄 4月

1日 たすけ推進会議
 6日 鼓笛練習(7日)
 13日 少年会総会準備

▽初席	八巻 久雄 (善進道)	4	18
▽教人登録	竹田 元 (馬追)	4	15
▽ひのきしん	本部婦人会	4	17
	梶川沙耶香 (新生)	4	19
・詰所	矢野 宏信 (富陽)	4	14
	矢野 明子 (富陽)	4	14
	山根ふじの (善進道)	4	17
	西山菜穂子 (善進道)	4	17
▽をびや1件		21	21
▽布教所開設 (4・3)			
▽亀勝布教所 所長・菅沼節子			
▽おまもり 2件			
▽育成基金寄付			
直轄			



「長年腰痛で悩んで、動けなかった日の事を思えば…」とお話しされる。かりものへの感謝の行いがひのきしん。いつでもどこでも、と思う心持が大切。(ま)

あるひのきしんの風景
 早朝5時過ぎに、その方はビニール袋を下げて公園に現れる。A市の中心部にあるその公園は、人の出入りも多いので、毎日のようにゴミがある。公園の池付近を30分程歩いただけで、ビニール袋はゴミでいっぱいになる。
 誰に頼まれたわけではない。誰かに見られるわけではない。褒められもせず、喜ばれている実感もない。しかし、今日も身体を使わせて頂ける。歩けること、ありがたさを、ゴミ拾いのひのきしんで表している。

- 14日 月次祭準備
- 15日 月例会議
- 17日 婦人会回参(20日)
- 18日 教祖御誕生祭
- 19日 本部婦人会総会
- 21日 少年会総会準備
- 24日 会長、本部神殿当番
- 26日 本部月次祭
- 27日 遥拝式
- 28日 少年会総会準備
- 28日 会長夫妻
- 29日 神崎大会会長就任奉告祭へ
- 29日 全教一斉ひのきしんデー
- 30日 会長夫妻、帰会
- 30日 少年会夕張団総会